

# 震災15年 小教区の祈り

住吉教会では、二人の信者、一人の勉強中の方が、そして教会のまわりでも多くの方々が亡くなりました。家が全壊したり、火事で焼けてしまった人もいます。避難所や仮設住宅を経験した人もたくさんあります。

教会の建物も壊れ、当時の生藤神父様のほこりだらけのスーツ姿を思い出します。沢山の他教会の方々も助けに来てくださいました。また私たちも地域のまわりの方々を訪問したり、ふれあい広場でお話したりしました。

神様のお導きとみんなの努力で、今教会は新しいきれいな建物に生まれ変わりました。感謝いたします。

15年経った今、震災で亡くなった多くの方々を追悼します。また震災で傷つき、今なお心身ともに苦しんでいる人たちが少しでも慰められますように。あの時みんなが自然に持ったまわりの人々への連帯感は、キリストが教えてくださった“愛”そのものだったのではないのでしょうか。

私たちがその体験を糧として、隣人への愛に生きていく事ができますように。

2010年1月17日

カトリック住吉教会